

土木交通委員会 説明資料

みどりが丘公園の見直しの
検討状況について

令和元年 12月 3日

緑政土木局

みどりが丘公園の見直しの検討状況について

目 次

	頁
1 趣旨-----	1
2 現計画と近年の状況-----	1
3 各種調査の概要-----	6
4 検討の方向性-----	1 4
5 今後の予定-----	1 7
(参考) 令和元年度アンケート調査等について-----	1 8

1 趣旨

みどりが丘公園は、公園と一体となった墓地を設け、緑と水に包まれた憩いとやすらぎの場を提供することにより、市民福祉の向上に寄与することを目的に事業を行っている。

これまでも、時代の変化に伴い、市民ニーズを踏まえ、小さな区画面積の墓地を増やすなど、面積が異なる7種類の普通墓地や、2種類の芝生墓地などを整備してきたが、近年、少子高齢化や核家族化など社会情勢の変化によりお墓のあり方に対する人々の意識や、価値観が変化してきており、先祖代々承継の必要な墓地の貸付数は減少傾向にある。

そのため、公営墓地として多様な市民ニーズにも対応し、継続的、安定的に墓地を提供していくため、みどりが丘公園全体の今後のあり方を見直すことを検討する。

2 現計画と近年の状況

(1) 事業の経緯

墓地需要の増大に伴い、昭和40年代には市立八事霊園の墓地が飽和状態となり、市民に新たな墓地を提供する必要性が生じた。昭和49年度に関係局で設置した「名古屋市墓園問題協議会」により候補地の比較検討等を行った結果、昭和56年度に新たな墓園を都市計画緑地である勅使ヶ池緑地に設置することを決定した。

昭和59年度には都市計画緑地である勅使ヶ池緑地の北側半分を「都市計画墓園第2号勅使ヶ池墓園」として都市計画変更し、昭和60年度からは農政緑地局（現緑政土木局）所管の事業となり、所要の整備を行いながら、昭和63年度から墓地の供用を開始した。

(2) 事業の概要

区 分	内 容
都市計画決定	昭和59年 8月 1日
事業認可	昭和59年10月29日
事業期間	昭和59年度から令和35年度まで (当初 昭和59年度から平成12年度まで)
全体計画面積	60.0ha (事業認可面積 58.6ha)
整備予定区画数	47,000区画 (当初 36,000区画)

(3) 墓地の種類

名 称	区 画 の 面 積
普通墓地	1.08㎡、1.92㎡、3㎡、4㎡、6㎡、 8㎡、12㎡
芝生墓地	3㎡、4㎡
修景墓地	1.07㎡

(4) 使用料単価

1㎡あたり443,000円 (令和元年度)

(5) 整備及び貸付の状況 (平成30年度末現在)

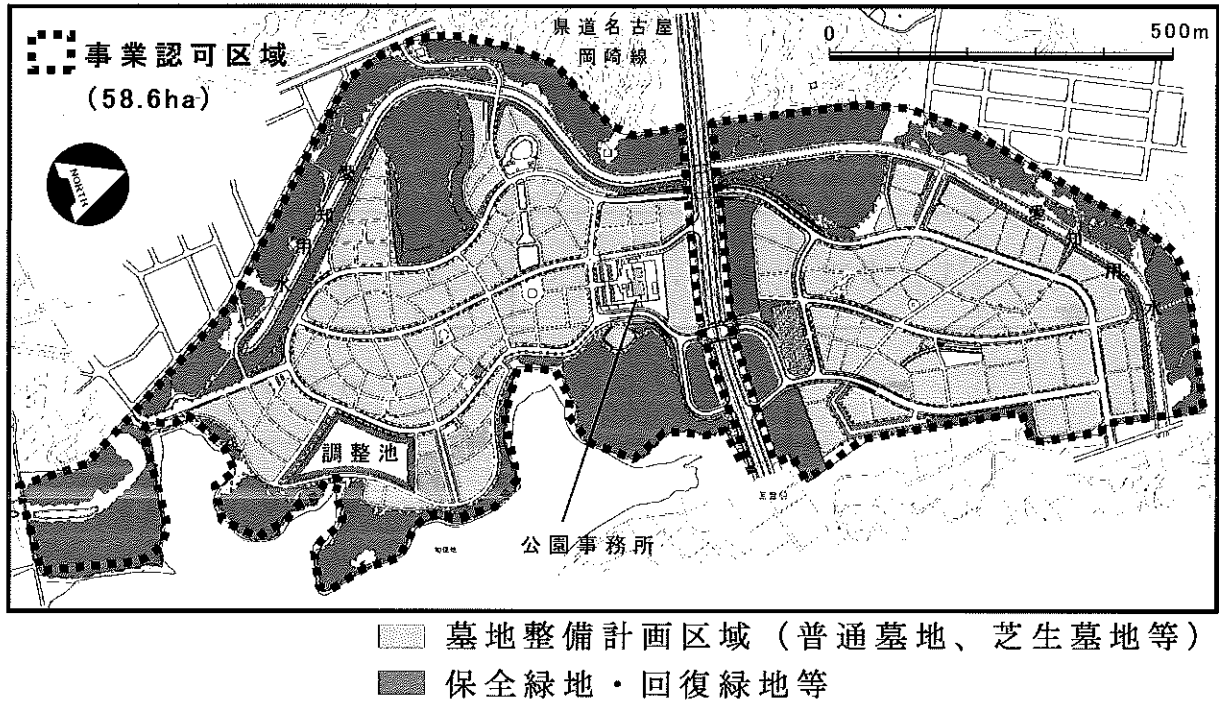
種 別		計 画 区 画 数	整 備 済 区 画 数	貸 付 区 画 数
普通墓地	m ²	区 画	区 画	区 画
	1.08	10,786	7,421	7,228
	1.92	12,783	8,325	8,147
	3	5,581	4,664	4,617
	4	2,554	1,966	1,943
	6	1,443	968	932
	8	495	298	293
	12	163	78	73
芝生墓地	3	12,279	1,833	1,658
	4	881	881	875
修景墓地	1.07	35	35	34
計		47,000	26,469	25,800

整備進捗率：56.3%、区画使用率：97.5%

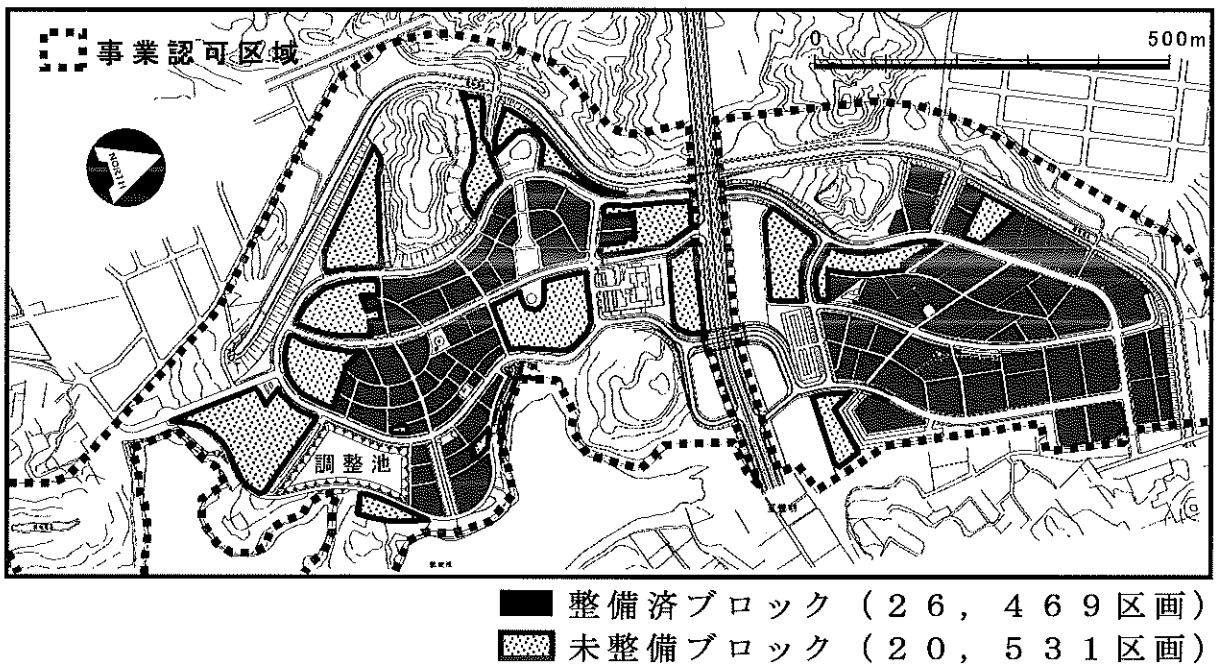
(6) 用地取得状況 (平成30年度末現在)

取 得 済	公 有 地 等	先 行 取 得 地	民 有 地	計
h a	h a	h a	h a	h a
47.9	4.6	4.3	1.8	58.6

(7) 計画平面図



(8) 現況平面図



(9) 貸付区画数及び使用料収入の推移

年 度	貸付区画数	使用料収入
	区画	千円
昭和63年度	1,382	691,237
平成元年度	1,054	581,720
平成5年度	1,020	705,762
平成10年度	975	696,325
平成15年度	926	589,646
平成20年度	853	613,944
平成25年度	681	526,488
平成26年度	540	458,592
平成27年度	476	388,951
平成28年度	306	261,229
平成29年度	248	192,857
平成30年度	221	208,931

(10) 近年の返還区画数の推移

平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
区画	区画	区画	区画	区画
38	47	51	63	85

3 各種調査の概要

中長期的な墓地の整備数の見直しや、合葬式墓地を始めとする、承継を必要としない新たな形態の墓地の導入等、みどりが丘公園全体の今後のあり方を検討するため、以下の調査を行った。

(1) 民間事業者の動向調査

民間事業者の今後の事業見通しや、墓地の供給状況等を把握するためヒアリング調査及びアンケートを実施した。

ア 納骨堂事業者ヒアリング

区 分	内 容
実施期間	令和元年6月17日～令和元年6月28日
調査対象者	市内で納骨堂を運営する主要な8事業者
主な内容	○今後の事業展開について 「新規整備や増設を考えていない」・・・5事業者 「今後、需要があれば増設する」・・・2事業者 「わからない」・・・・・・・・・・・・・・・・・・1事業者 ○みどりが丘公園についての意見 「公営であることは信頼性が高い」 「広々としていて墓地の近くまで車で行けるのが良い」 「公共交通機関でのアクセスが悪い」

イ 墓地事業者アンケート

区 分	内 容
実施期間	令和元年8月9日～令和元年8月30日
調査対象者	市内で普通墓地を販売する主要な45事業者 有効回収数20事業者（回収率44%）
主な内容	○今後の従来型墓地の需要について 「減る」・・・・・・・・・・・・・・・・65.0% 「これまでと変わらない」・・・・30.0% 「わからない」・・・・・・・・・・・・5.0%

ウ 結果

- ・納骨堂事業者の多くは、新規整備や増設を考えていない。
- ・墓地事業者の多くは、今後、従来型墓地の需要は減ると予想している。

(2) 市民アンケート

今後求められる墓地のニーズを把握するとともに、墓地に対する一般的な傾向を把握するために実施した。

ア 概要

区 分	内 容
実施期間	令和元年7月4日～令和元年7月31日
調査対象者	市内在住30歳以上の方2,500人
有効回収数	800人(回収率32%)
主な内容	<p>○今後、どのような墓地や納骨堂を選ぶか</p> <p>「未定・わからない」・・・・・・・・・・22.9%</p> <p>「代々引き継がれる伝統的な墓地(従来型墓地など)」 ・・・・・・・・・・21.1%</p> <p>「多くの遺骨を共同で納める墓地(合葬式墓地など)」 ・・・・・・・・・・16.5%</p> <p>○みどりが丘公園に合葬式墓地が整備されたら利用したいか</p> <p>「わからない・その他」・・・・・・・・・・32.1%</p> <p>「既に持っている墓地等を使うので、みどりが丘公園の合葬式墓地を利用することはない」 ・・・・・・・・・・27.8%</p> <p>「価格や環境等の条件によっては利用しても良い」 ・・・・・・・・・・15.6%</p> <p>「場所に関わらず合葬式墓地は利用したくない」 ・・・・・・・・・・7.9%</p> <p>「利用したい」・・・・・・・・・・5.8%</p> <p>○みどりが丘公園に望むもの(複数回答可)</p> <p>「静かな環境と豊かな緑」・・・・・・・・・・47.8%</p> <p>「墓参りの時に利用できる休憩施設や売店」 ・・・・・・・・・・30.6%</p> <p>「散策や憩いの場として利用できる遊歩道や芝生広場」 ・・・・・・・・・・29.3%</p>

イ 結果

- ・どのような墓地等を選ぶか未定といった意見が多い中で、従来型墓地や合葬式墓地についても、一定の需要があることが確認できた。一方で、場所に関わらず、合葬式墓地は利用したくないという意見もあった。
- ・みどりが丘公園に望まれているものは「静かな環境と豊かな緑」が最も多かった。

(3) みどりが丘公園墓地利用者アンケート

みどりが丘公園に墓地を所有する方を対象に、みどりが丘公園に対する意識等の傾向を把握するために実施した。

ア 概要

区 分	内 容
実施期間	令和元年7月4日～令和元年7月31日
調査対象者	みどりが丘公園墓地利用者の方2,500人
有効回収数	1,411人(回収率56%)
主な内容	<p>○みどりが丘公園の墓地を選んだ時に重視した条件は (複数回答可)</p> <p>「交通の利便性・立地条件」・・・・・・・・・・42.9%</p> <p>「静かな環境や豊かな緑」・・・・・・・・・・41.1%</p> <p>「設置者(名古屋市)に対する信頼や安心感」 ・・・・・・・・・・39.8%</p> <p>○みどりが丘公園に合葬式墓地が整備されたら利用したいか</p> <p>「わからない・その他」・・・・・・・・・・35.2%</p> <p>「価格や環境などの条件によっては利用しても良い」 ・・・・・・・・・・20.9%</p> <p>「場所に関わらず合葬式墓地は利用したくない」 ・・・・・・・・・・19.7%</p> <p>「利用したい」・・・・・・・・・・12.3%</p> <p>「無回答」・・・・・・・・・・10.5%</p> <p>○みどりが丘公園に望むもの(複数回答可)</p> <p>「静かな環境と豊かな緑」・・・・・・・・・・66.8%</p> <p>「墓参りの時に利用できる休憩施設や売店」 ・・・・・・・・・・39.6%</p> <p>「散策や憩いの場として利用できる遊歩道や芝生広場」 ・・・・・・・・・・23.8%</p>

イ 結果

- ・墓地を選ぶ条件として、市民アンケート結果と比較して、「設置者（名古屋市）に対する信頼や安心感」を重視した意見が多かった。
- ・みどりが丘公園の「静かな環境と豊かな緑」を高く評価する意見が多かった。

(4) 合葬式墓地にかかる調査

ア 他都市調査の概要

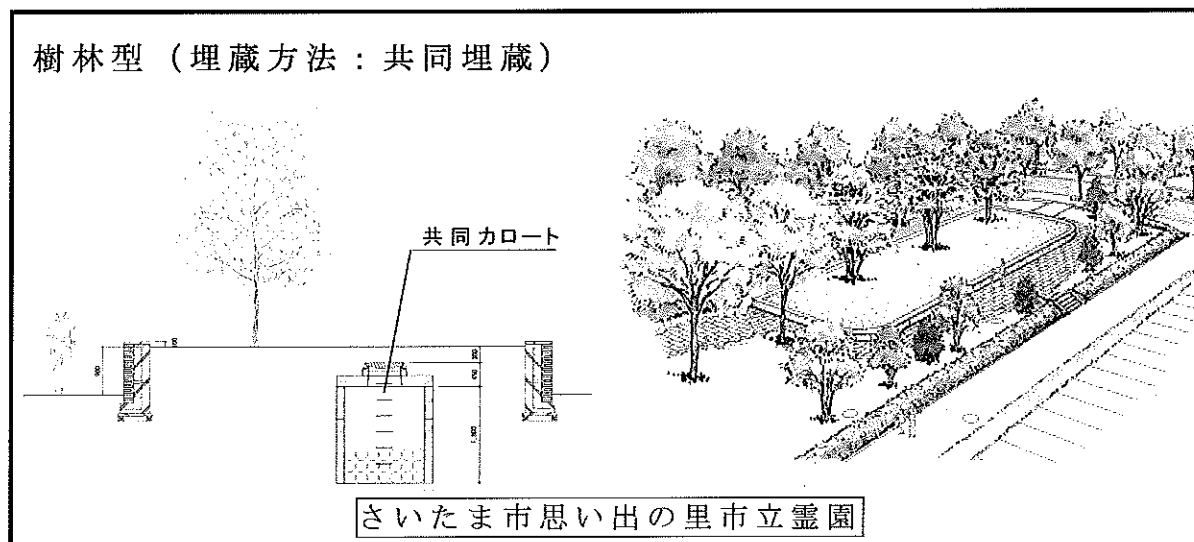
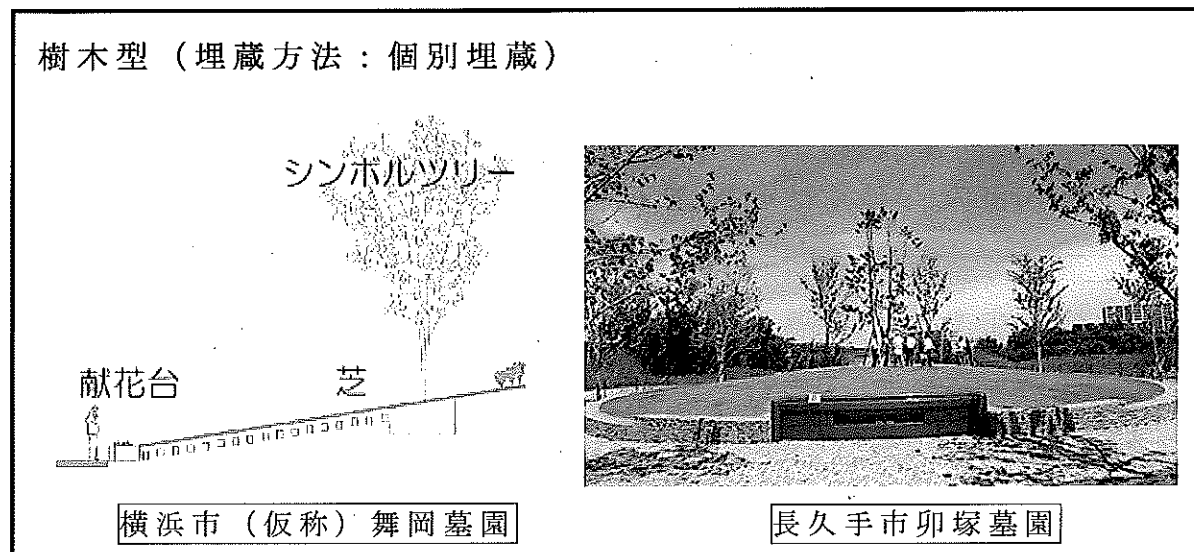
形式、埋蔵方法及び規模（埋蔵可能数）等に関して、平成28年度から平成30年度にかけて現地調査を行った。

都市名	概要
長久手市	<ul style="list-style-type: none"> ・ 樹木を墓標とし、袋に納めた遺骨を土中に直接埋蔵する墓地 ・ 埋蔵可能数 1,000体 ・ 永代使用料 150千円/体
横浜市	<ul style="list-style-type: none"> ・ 樹木を墓標とし、骨つぼを土中に直接埋蔵する墓地 ・ 埋蔵可能数 3,000体 ・ 永代使用料 140千円/体
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 碑を墓標とし、一定期間遺骨を納骨室へ安置した後、共同カロート（注）に合祀する墓地 ・ 埋蔵可能数 12,000体 ・ 永代使用料 60千円/体
さいたま市	<ul style="list-style-type: none"> ・ 樹木を墓標とし、遺骨を共同カロートに合祀する墓地 ・ 埋蔵可能数 16,000体 ・ 永代使用料 100千円/体
岡山市	<ul style="list-style-type: none"> ・ 碑を墓標とし、遺骨を共同カロートに合祀する墓地 ・ 埋蔵可能数 1,000体 ・ 永代使用料 10千円/体
札幌市	<ul style="list-style-type: none"> ・ 碑を墓標とし、遺骨を共同カロートに合祀する墓地 ・ 埋蔵可能数 12,000体 ・ 永代使用料 9千円/体

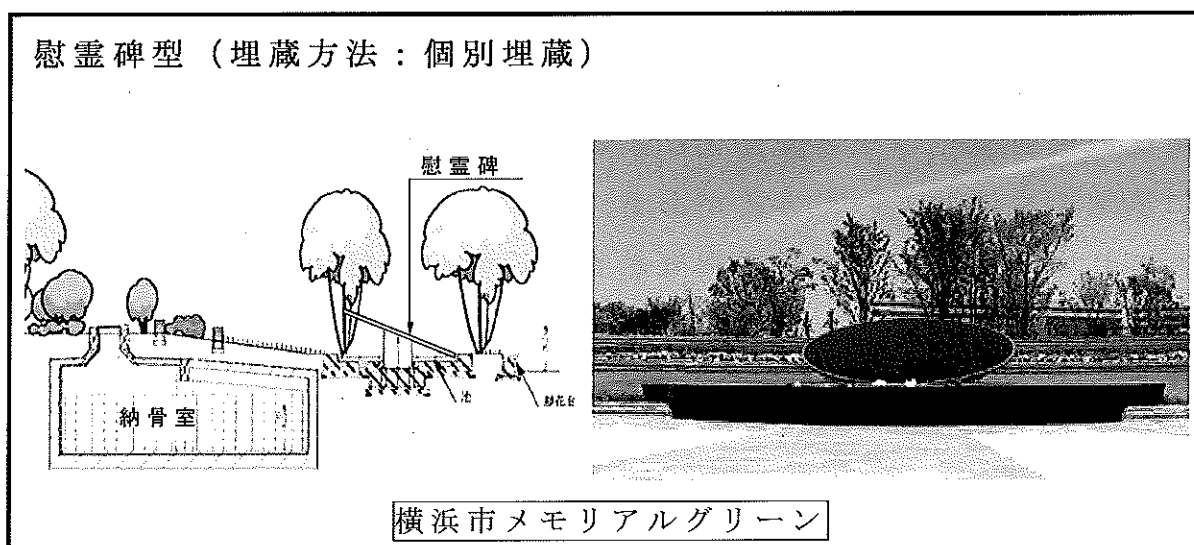
(注) 墓石の下などに設けられる遺骨を納める施設

イ 合葬式墓地の形式

(ア) 樹木・樹林を墓標とする例



(イ) 碑を墓標とする例



ウ 政令指定都市等における導入状況

本市以外の全国の政令指定都市及び東京都（20都市）について、承継を必要としない合葬式墓地等の導入状況は以下のとおりであった。

区 分	都市数
導入済みもしくは今後導入予定あり	17（注）
検討中もしくは導入予定なし	3

（注）外部団体により導入済みの1都市含む

エ 結果

- ・政令指定都市等における導入状況を調査する中で、多くの都市では、アンケート等により市民ニーズを把握のうえ、限られたスペースを有効活用して合葬式墓地を設置していることがわかった。
- ・遺骨の埋蔵については、共同カロートに多数の遺骨を埋蔵する共同埋蔵や、樹木の周りに直接骨つぼごと埋蔵する個別埋蔵等の方法があり、立地・敷地等の条件に応じて、それぞれの墓地に適した方法が採用されていた。

4 検討の方向性

今後ますます少子高齢化が進む中で、みどりが丘公園は公営墓地として、市民の価値観やニーズの変化に柔軟に対応し、長期にわたり安定的に市民に墓地を提供していく必要がある。

これまで行ってきた各種調査結果や近年の貸付状況等を踏まえ、「墓地の整備計画の見直し」や「新たな形態の墓地の導入」に向けた検討の方向性を以下に示す。

(1) 墓地の整備計画の見直し

ア 整備計画の考え方

近年の貸付区画数の減少や返還数の増加傾向を考慮すると、現在の従来型墓地の整備予定区画数47,000区画は過大と考えられ、見直しが必要である。一方、市民アンケートでは、従来型墓地に対し一定のニーズがあることが示されている。

したがって、合葬式墓地の需要や、貸付・返還の状況を考慮しながら、過不足なく提供できる区画数となることを目指す。

イ 「静かな環境や豊かな緑」の維持

現計画で今後墓地の整備を予定していた場所の現状は、その大部分が樹林地や調整池となっており、今後の墓地整備にあたり、可能な限り樹林地の伐採や大規模な造成等を行わないこととする。

また、みどりが丘公園全体としても、現状の緑地環境を保全し、「静かな環境や豊かな緑」を将来的にも維持していくものとする。

ウ 今後の課題

ニーズに合った整備区画数や場所を精査し、より具体的な整備計画を検討する必要がある。

(2) 新たな形態の墓地の導入

ア 墓地の形式

多くの政令指定都市等では、既に合葬式墓地が導入されており、また、アンケートで多くの市民がみどりが丘公園の「静かな環境や豊かな緑」を望んでいることなどから、導入する墓地の形式は、みどりが丘公園の現在の環境や緑を活かし、「樹林型」・「樹木型」に代表される合葬式墓地の導入を目指すものとする。

イ 埋蔵方法

共同カロートに多数の遺骨を埋蔵する「共同埋蔵」は、他の多くの方の遺骨とまとめて埋蔵されることに抵抗感のある方も想定されるため、骨つぼごとに埋蔵する「個別埋蔵」も一定数整備することを目指し、市民のニーズに合わせて選択できるようにする。

ウ 今後の課題

みどりが丘公園の現地状況に合わせて、合葬式墓地の規模や付帯施設等の内容を始め、運用方法や使用料等についても、より具体的な検討を行う必要がある。

(3) その他の検討項目

ア 収支

墓地整備事業については、受益者負担の考え方により、墓地の使用料収入を主な財源として、事業終了までに用地取得含め墓地の整備等に要する費用をすべて賄うことを前提に事業を進めている。

しかし、貸付の減少に伴い使用料収入が減少しているため、整備計画の見直しと併せて、収支も含めた墓地整備事業全体の見直しについて検討する。

イ 管理・運営

合葬式墓地の導入検討に合わせて、指定管理者の業務の見直しや墓地の募集方法の検討が必要である。

また、みどりが丘公園のさらなる利用促進に繋がる効果的な広報や、墓地使用要件の緩和、より小面積の墓地区画導入等の検討も必要であると考えている。

5 今後の予定

今年度は、みどりが丘公園の合葬式墓地についての基本的な検討を進める。

令和2年度は、従来型墓地の新たな計画区画数や合葬式墓地の導入等を含めた墓地整備事業全体の見直しの検討を進め、みどりが丘公園の新たな方針の策定を目指す。

(参考) 令和元年度アンケート調査等について

(1) 納骨堂事業者ヒアリング

ア 概要

区 分	内 容
実施期間	令和元年6月17日～令和元年6月28日
調査対象者	市内で納骨堂を運営する主要な8事業者

イ 主な意見（抜粋）

(ア) 今後の事業展開について

- ・新規整備や増設を考えていない . . . 5事業者
- ・今後、需要があれば増設する . . . 2事業者
- ・わからない . . . 1事業者

(イ) みどりが丘公園について

- ・公営墓地であることは利用者の信頼性が高く、需要があるだろう。
- ・小面積の区画を増やして墓地単価を下げたり、市内要件を外す等をすれば利用者は増えるのではないか。
- ・暑い時期には日陰があると良いと思う。
- ・広々としていて、墓地の近くまで車で行けるのが良い。
- ・公共交通機関でのアクセスが悪い。

(2) 墓地事業者アンケート

ア 概要

区 分	内 容
実施期間	令和元年8月9日～令和元年8月30日
調査対象者	市内で普通墓地を販売する主要な45事業者
有効回収数	20事業者（回収率44%）

イ 主な結果

(ア) 今後の普通墓地の需要（回答者数20事業者）

問) 今後、従来型墓地の中でも、普通墓地の需要はどうかと考えていますか。

選 択 肢	回答数	比 率
1. 増える	0	0.0%
2. これまでと変わらない	6	30.0%
3. 減る	13	65.0%
4. わからない	1	5.0%
無回答	0	0.0%

(イ) 提供する墓地の寸法（複数回答可）

選 択 肢	回答数	比 率
1. 1.0㎡未満	16	80.0%
2. 1.0㎡～2.0㎡未満	9	45.0%
3. 2.0㎡～4.0㎡未満	3	15.0%
4. 4.0㎡以上（希望面積等）	2	10.0%
無回答	1	5.0%

(3) 市民アンケート

ア 調査概要

区 分	内 容
実施期間	令和元年7月4日～令和元年7月31日
調査対象者	市内在住30歳以上の方2,500人
有効回収数	800人(回収率32%)

イ 主な結果(抜粋)

(ア) 希望するお墓等の種類(回答者数800人)

問) 今後、墓地や納骨堂などを選ぶとしたら、以下のどのタイプを選びますか。

選 択 肢	回答数	比 率
	%	%
1. 多くの遺骨を共同で納める墓地(合葬式墓地など)	132	16.5
2. 代々引き継がれる伝統的な墓地(従来型墓地など)	169	21.1
3. ロッカー式や自動搬送式の納骨堂など	65	8.1
4. 遺骨が後に残らない海や山への散骨など	68	8.5
5. 墓地や納骨堂などはいらないので選べない	78	9.8
6. 未定・わからない	183	22.9
7. その他	12	1.5
無回答	93	11.6

(イ) お墓を持つことについての問題点・心配事 (回答者数 800 人)

問) お墓を持つことについて、問題点や心配事がありますか。

(複数回答可)

選 択 肢	回答数	比 率
		%
1. 引き継いでくれる人がいない	166	20.8
2. 墓石の掃除や除草などの維持管理が大変	269	33.6
3. 墓地が遠いと墓参りが大変	257	32.1
4. 納骨や法要などの費用負担が大きい	226	28.3
5. わからない・特にない	217	27.1
6. その他	30	3.8
無回答	67	8.4

(ウ) お墓を選ぶ時に重視する条件 (回答者数 800 人)

問) 墓地や納骨堂を選ぶ時に重視する条件は何ですか。

(複数回答可)

選 択 肢	回答数	比 率
		%
1. 使用料や管理料などの費用	441	55.1
2. 交通の利便性・立地条件	408	51.0
3. 静かな環境や豊かな緑	112	14.0
4. 1区画の面積や柵の大きさ	10	1.3
5. 施設の管理や運営状況	203	25.4
6. 形式やタイプ (普通墓地、合葬式墓地、自動搬送式等)	60	7.5
7. 宗教的な理由 (宗派、宗教等)	63	7.9
8. 設置者や管理者に対する信頼や安心感	170	21.3
9. 条件に関わらず、墓地や納骨堂はいらない	117	14.6
10. その他	22	2.8
無回答	84	10.5

(エ) 合葬式墓地の需要（回答者数 800 人）

問）今後、みどりが丘公園に新たに合葬式墓地が整備されたら、利用したいと思いますか。

選 択 肢	回答数	比 率
		%
1. 利用したい	46	5.8
2. 価格や環境などの条件によっては利用しても良い	125	15.6
3. 民間の寺院墓地や納骨堂がよいので利用したくない	23	2.9
4. 場所に関わらず合葬式墓地は利用したくない	63	7.9
5. 既に持っている墓地や納骨堂を使うので、みどりが丘公園の合葬式墓地を利用することはない	222	27.8
6. わからない・その他	257	32.1
無回答	64	8.0

(オ) みどりが丘公園に望むもの（回答者 800 人）

問）みどりが丘公園に望むものは何ですか。（複数回答可）

選 択 肢	回答数	比 率
		%
1. 静かな環境と豊かな緑	382	47.8
2. 散策や憩いの場として利用できる遊歩道や芝生広場	234	29.3
3. 伝統的な墓地（従来型墓地など）や合葬式墓地、使用期限のある墓地など、様々な種類が選べる	200	25.0
4. 墓参りの時などに利用できる休憩施設や売店がある	245	30.6
5. 必要な時にいつでも墓地を申し込める	220	27.5
6. 盆や彼岸の合同慰霊祭など	68	8.5
7. 趣味等を利用した交流の場となる	36	4.5
8. その他	54	6.8
無回答	121	15.1

(4) みどりが丘公園墓地利用者アンケート

ア 調査概要

区 分	内 容
実施期間	令和元年7月4日～令和元年7月31日
調査対象者	みどりが丘公園墓地利用者の方2,500人
有効回収数	1,411人(回収率56%)

イ 主な結果(抜粋)

(ア) みどりが丘公園の墓地を選んだ理由(回答者1,411人)

問) みどりが丘公園の墓地を選んだ時に重視した条件は何ですか。

(複数回答可)

選 択 肢	回答数	比 率 %
1. 使用料や管理料などの費用	529	37.5
2. 交通の利便性・立地条件	606	42.9
3. 静かな環境や豊かな緑	580	41.1
4. 墓地の1区画の面積	161	11.4
5. みどりが丘公園の管理や運営状況	189	13.4
6. 墓地の形式やタイプ(普通墓地、芝生墓地等)	103	7.3
7. 宗教的な理由(宗派、宗教等)	25	1.8
8. 設置者(名古屋市)や管理者に対する信頼や安心感	562	39.8
9. 条件に関わらず、他の場所を選べなかった	93	6.6
10. 承継したためわからない	102	7.2
11. その他	79	5.6
無回答	49	3.5

(イ) 合葬式墓地の需要 (回答者数 1, 411人)

問) 今後、みどりが丘公園に新たに合葬式墓地が整備されたら、利用したいと思いますか。

選 択 肢	回答数	比 率
1. 利用したい	173	12.3%
2. 価格や環境などの条件によっては利用しても良い	296	20.9
3. 民間の寺院墓地や納骨堂がよいので利用したくない	21	1.5
4. 場所に関わらず合葬式墓地は利用したくない	278	19.7
5. わからない・その他	496	35.2
無回答	148	10.5

(ウ) みどりが丘公園に望むもの (回答者 1, 411人)

問) みどりが丘公園に望むものは何ですか。(複数回答可)

選 択 肢	回答数	比 率
1. 静かな環境と豊かな緑	943	66.8%
2. 散策や憩いの場として利用できる遊歩道や芝生広場	336	23.8
3. 伝統的な墓地(従来型墓地など)や合葬式墓地、使用期限のある墓地など、様々な種類が選べる	219	15.5
4. 墓参りの時などに利用できる休憩施設や売店がある	559	39.6
5. 必要な時にいつでも墓地を申し込める	76	5.4
6. 盆や彼岸の合同慰霊祭など	58	4.1
7. 趣味等を利用した交流の場となる	27	1.9
8. その他	46	3.3
無回答	113	8.0